

湘南鎌倉人工関節センター

《膝関節部門》 移転のお知らせ

湘南鎌倉人工関節センター 副院長・膝関節部長の巽
(たつみ)です。



股関節と膝関節はそれぞれ密接な関係があり、同じ場所で診させて頂くのが良かったのですが、2004年人工関節センター開院以来、当院での低侵襲手術を希望される患者様は非常に多く、たいへん手狭になってきました。

初診・手術をお待ちの多くの患者様に対応するべく、

ベッド数の増床とクリニックから病院への変更を医療行政の各方面へお願いしていますが、なかなか良いお返事を頂けておりません。

平成22年9月27日のテレビ放映後、さらに多くの膝関節患者様からお問い合わせを頂いており、股関節・膝関節を現在の人工関節センターで診療・手術することが物理的に不可能となっています。また、膝関節の患者様は60～90歳と高齢者が多く、平均年齢は75歳になろうとしております。また患者様の高齢化に伴って、高血圧・糖尿病・心疾患などの合併症をお持ちの方が近年増えています。

良い意味で人工関節センターは整形外科専門クリニックでありましたが、その反面、内科・心臓血管外科・糖尿病外来などを併設することは出来ませんでした。今までは術前に合併症・既往症のある患者様に対しては、それぞれ専門病院などへ紹介状を書かせて頂き対応をしてきました。この現状を熟考した結果、高齢で遠方から来られる多くの患者様にきちんと対応するため、膝関節部門を親病院の湘南鎌倉総合病院内に移転することになりました。

平成22年9月1日から湘南鎌倉総合病院は新築病院へ移転しており、治療設備や療養環境も大変綺麗になりました。また、内科・外科・循環器と多くの専門性の高い優秀な先生方が集まられており、術前・術後の合併症対策の観点からも十二分な対応が出来ると考えております。

人工関節センターは、これからも最先端の低侵襲手術を追求していきます。今回の膝関節部門の湘南鎌倉総合病院への移転については、患者様の高齢化に対して、より安心して治療を受けていただけ、患者様の安心につながるものと信じております。

以上、ご理解を頂けますよう、よろしくお願い致します。

平成22年10月20日

副院長・膝関節部長 巽 一郎